

漁業資源対策研究調査

岡崎孝博・和田隆史

本調査では、小型機船底びき網漁業における重要種の資源状態を把握することを目的として標本漁協における漁獲統計を調査した。

それぞれ前年比59%、37%であった(図1)。CPUEの推移から判断して、資源水準は、2005年以降低位、横ばい傾向にあると考えられる。

材料と方法

徳島市漁協および椿泊漁協の小型機船底びき網漁業における日別経営体別の漁獲統計から1日1隻あたりの漁獲量(以下、CPUE)を求めた。資源量の指標であるCPUEの経年変化から重要種の資源水準を推察した。

2. イボダイ

イボダイの2011年のCPUEは徳島市漁協、椿泊漁協ではそれぞれ前年比69%、35%であった(図2)。CPUEの推移から判断して、資源水準は、2008年の徳島市漁協を除くと、2006年以降、低位、横ばい傾向にあると考えられる。特に2011年の資源水準は低調であった。

結果と考察

1. タチウオ

タチウオの2011年のCPUEは徳島市漁協、椿泊漁協では

3. マアナゴ

マアナゴの2011年のCPUEは徳島市漁協、椿泊漁協ではそれぞれ前年比64%、108%であった(図3)。CPUEの推移から判断して、資源水準は、2009年の椿泊漁協を除くと、2004年以降、低位、横ばい傾向にあると考えられる。徳島市漁協では2011年のCPUEが1999年以降、最低の0.14kg/日・隻となった。

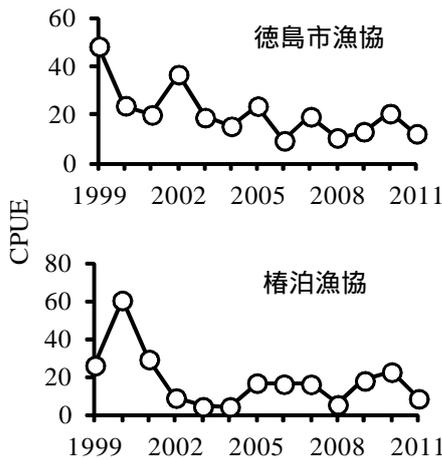


図1. 小型底びき網におけるタチウオのCPUE (kg/日・隻)の経年変化

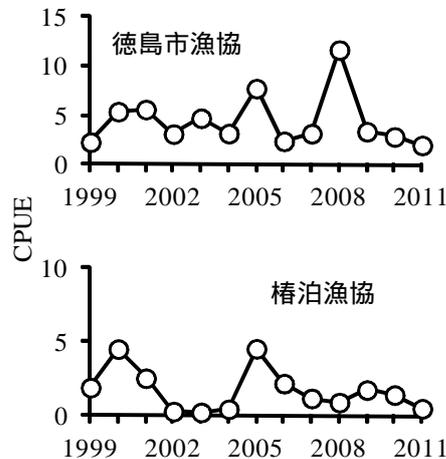


図2. 小型底びき網におけるイボダイのCPUE (kg/日・隻)の経年変化

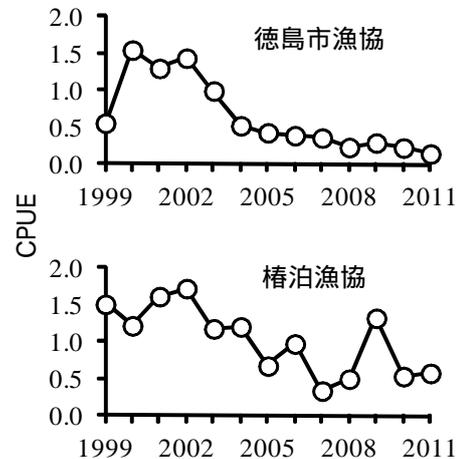


図3. 小型底びき網におけるマアナゴのCPUE (kg/日・隻)の経年変化

4. クマエビ

クマエビの2011年のCPUEは徳島市漁協、椿泊漁協ではそれぞれ前年比198%、151%であった(図4)。CPUEの推移から判断して、資源水準は、増大傾向にあると考えられる。徳島市漁協では2011年のCPUEが1999年以降、最高の5.75kg/日・隻となった。

5. ヨシエビ

ヨシエビのCPUEは徳島市漁協では2011年は前年比152%であった(図5)。CPUEの推移から判断して、資源水準は、2009年以降、増大傾向にあると考えられる。徳島市漁協では2011年のCPUEが1999年以降、最高の2.46kg/日・隻となった。

6. シャコ

シャコの2011年のCPUEは徳島市漁協では前年比134%であった(図6)。CPUEの推移から判断して、資源水準は、2004年以降、顕著に低位、横ばい傾向にあると考えられる。

7. ジャノメガザミ

ジャノメガザミの2011年のCPUEは徳島市漁協では前年比711%であった(図7)。CPUEの推移から判断して、資源水準は、2006~2010年の低位、横ばい傾向から、2011年では増大した。

今後は他の重要種も含めて漁獲動向のモニタリングを継続実施し、資源動向を把握するとともに、資源量の増減要因についても明らかにする必要がある。

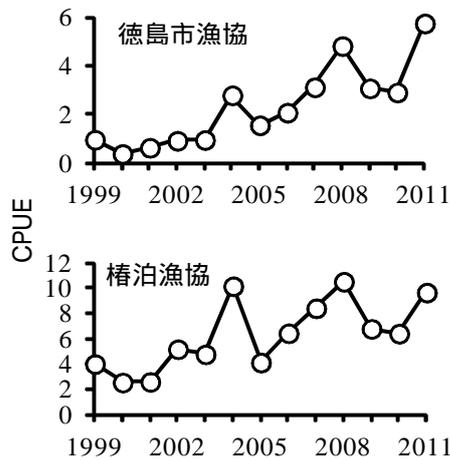


図4. 小型底びき網におけるクマエビのCPUE (kg/日・隻)の経年変化

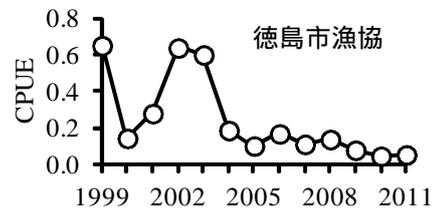


図6. 小型底びき網におけるシャコのCPUE (kg/日・隻)の経年変化

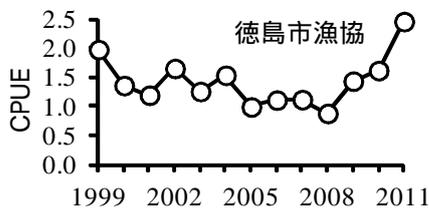


図5. 小型底びき網におけるヨシエビのCPUE (kg/日・隻)の経年変化

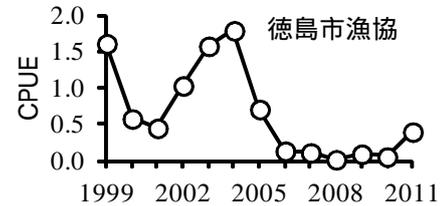


図7. 小型底びき網におけるジャノメガザミのCPUE(kg/日・隻)の経年変化